

令和5年6月20日



西中学校通信

第4号

自主的に考え、正しく行動できる生徒

<自立と自律>

勝負の向こう側

3年生にとっては、最後の公式戦となる運動部活動の学校総合体育大会狭山市予選会が終了しました。

自分で選択し、これまで練習を積み上げてきた部活動での中学校最後の勝負の場となった人もいます。

スポーツ競技は、単純明快であり、結果は、勝つか負けるかのどちらかです。市内予選を勝ち上位大会に進む人もいれば、負けて、部活動を引退した人もいます。

勝利を目指して練習し、勝利を目指して大会を戦ったことと思いますが、勝負事なので、結果は勝つか負けるかです。

勝負の世界では、最後まで勝ち続けるものは、ひとりかひとつのチームだけです。それ以外の人たちは悔し涙を流すこととなります。

負けたら、これまでの努力は無駄になったのでしょうか。
結果に結びつかないことは無駄だと考えますか。

勝負の向こう側に、君は何を見つけましたか。
または、これから何を見つけられるのでしょうか。

勝利を心から喜べましたか。敗戦を腹の底から悔しいと思えましたか。

長い期間をかけ、ひとつのことに打ち込んだ後、皆さんの心が、大きく動いたなら、それまでのプロセス（過程）に大きな意味があったのだと思います。

それが、うれしい動きでも、悔しい動きでも、ひとしく価値のあることだと思っています。

3年生の皆さんは、今年度末には、自分の進路選択がまっています。その後も、自分の練習や準備が試される場面が続くことでしょう。

負けることや失敗、挫折をしない人などはおらず、この先もきっと悔し涙にくれるときがあるはずです。

しかし、本当の価値、喜びは、その向こう側にあるのかもしれませんが。

生きていくということは、敗者復活戦にエントリーし続けることかもしれません。

(裏面あり)

西中生の活躍

●通信陸上競技大会 県大会

- 2年生女子100m 優勝
- 女子200m 3位 (全国大会出場標準記録突破)
- 男子走り幅跳び 6位

●学校総合体育大会市内予選

<団体>

- 野球部 優勝 (県大会出場)
- サッカー部 優勝 (県大会出場)
- ソフトボール部 優勝 (県大会出場)
- 剣道部女子団体 優勝 (県大会出場)
- 柔道部男子団体 優勝 (地区大会出場)
- バレーボール部 準優勝 (地区大会出場)
- 男子バスケットボール部 3位
- 陸上部 女子総合3位 男子総合4位 学校総合3位

<個人>

- 剣道女子 優勝 (県大会出場)
- 柔道 優勝 (地区大会出場) 優勝 (地区大会出場)
優勝 (地区大会出場) 優勝 (地区大会出場)
準優勝 (地区大会出場) 準優勝 (地区大会出場)
- 卓球 3位
- 男子テニス ベスト8
- 陸上部 (8位入賞者)

<男子の部>

- ・1年生100m 8位
- ・2年生100m 優勝 (県大会出場) 4位 7位
- ・3年生100m 2位
- ・200m 優勝
- ・400m 7位 8位
- ・800m 8位
- ・3000m 6位
- ・走幅跳 優勝 (県大会出場) 8位
- ・砲丸投 3位 6位 8位
- ・400mR 優勝 (県大会出場)

<女子の部>

- ・2年生100m 優勝 (新記録・県大会出場)
- ・3年生100m 8位
- ・200m 優勝
- ・800m 優勝 2位 (県大会出場) 8位
- ・1500m 優勝 (県大会出場) 2位 4位
- ・100mH 4位
- ・400mR 優勝 (県大会出場)

